

【英語】

～ClassPad.netの各種ふせんを活用する～

英語を用いて「相手に伝わる」プレゼンテーションを考える授業
効果的なプレゼンテーションを行う力を養う。

【本授業の目的・狙い・到達目標】

- 教師向けの目標：生徒それぞれの興味・関心に沿った、オリジナルの発表を行ってもらうことで、英語学習に自主的・意欲的に取り組ませる。
- 生徒向けの目標：英語による発表を通してスピーキング能力を高め、汎用的なスキルとしてのプレゼンテーション能力を身につける。

【ClassPad.net 活用によるメリット】

- ・生徒の理解促進：ClassPad.netの各種ふせんやスライドショー機能などを用いることで、生徒が発表内容を視覚的に理解しやすくなる。
- ・探究学習促進：授業の発展的内容を主体的に学び、それを支える様々なコンテンツを用いることで生徒の学びを深める。
- ・生徒の集中力アップ：ClassPad.netを利用して視覚的に興味を引きやすいプレゼンテーションを行うことで、生徒の集中力が促進される。

授業の流れ

ClassPad.netでの操作

step1

【授業説明】

- お気に入りの場所について紹介しよう
 - ・訪れたことがある、気になっている、行ってみたい場所、どんな場所を紹介してもよい。
 - ・最初に英作文を作成すること
 - ・デジタルふせんやスライドを用いて、他者に伝わりやすいプレゼンテーションを作成する
 - ・授業の最後に最もよいプレゼンテーションを決定する

概要の説明

特定の地域について書かれた英文を想定し、生徒自身が訪れたことのある(もしくは行ってみたい、気になっている)場所について紹介するプレゼンテーションを英文で作成するという授業内容を伝える。その際、誰のプレゼンテーションが最も良かったかを最終的に投票させることを説明する。

step2

○英作文作成のポイント

- ①伝えたいポイント、魅力を英作文の作成前に整理する。
- ②多用される表現について確認する。
Ex. the most～：最も～な
the place to visit：訪れるべき場所
in addition：加えて～
masterpiece：傑作
World Heritage Sites：世界遺産
などなど…
- ③1センテンスは簡潔に(長い文にしないこと)

授業の復習・ポイントの説明

教科書本文で紹介されていた地域の特色・建築物などについて復習し、「どのような点を紹介すればよいか」という点を、具体的な構文や単語・連語等を用いて生徒に理解させる。

英文はテキストふせんで提示する。教員からの提示はテキストふせんとどめ、生徒にやってもらうプレゼンテーションで自主的に工夫してもらう余地を残すようにする。

step3

<個人作業>

- ・①それぞれが行きたい場所について紹介する英作文を作成
- ↓
- ②英作文をもとにプレゼンテーションの作成
- ・step2で学んだ「ポイント」を意識すること
- ・発表時間は3分間
→途中でも打ち切ります。練習しながら時間を測っておくことをおすすめします！

個人作業

紹介したい場所・地域が決定したら、個人でのプレゼンテーション作成を行う。発表の形式は自由とし、テキストふせんを使ってプレゼンテーションのスライドを作ってもよいし、動画や写真をふせんに貼り付けてもよいものとする。

生徒に新規でデジタルノートを作成させ、そこに各種ふせんを用いてプレゼンテーションの素材を用意してもらう。

step4

<グループワーク>

- 作成したプレゼンテーションを各グループのメンバーに紹介しよう！(→練習時間あり)
- 制限時間は1人3分
→途中で打ち切ります！
- 発表の形式は自由
→最も伝わりやすい伝え方を考えて実践しよう！
- 「発表する」ということを意識しよう！
Ex. 声の大きさ、目線、身振り手振り など

グループワーク

クラスをいくつかのグループに分け、個人で行った作業をグループのメンバーに見せながら、各グループ内で発表させる。グループのメンバー全員が発表を終えたら、挙手で投票を行ってクラス全体で共有すべき発表を決定してもらおう。時間があれば、フィードバックとして話し方で改善すべき点を指摘し合わせる。

グループ内で発表させる際には、各生徒が持っている端末を小さい電子黒板に見立てて実演してもらおう。聞き手には、話し方やふせんの使い方などについて良かった点・改善点を指摘できるようにさせる。教員も各グループを巡回し、時間の許す限りフィードバックができるとよい。

step5

<各グループ代表者による発表>

- 各グループの代表者に発表してもらおう！
- 「その場所に行きたくなかったか」
「スライドはわかりやすかったか」
「発表者の態度・声量」
などの観点で最も優れていた生徒に投票しよう！
- 各発表者に積極的に質問をしよう！

クラス全体でのワーク

step 4 で選ばれた各グループの代表者に発表してもらおう。この時、生徒は「その場所に行きたくなかったか」「スライドはわかりやすかったか」「発表者の態度・声量」などの観点から評価し、最も優れていた生徒に投票させる。各発表者に対して生徒に質問させたり、教員が簡単なフィードバックをしたりする。教員がフィードバックする際は、実用的なスキルとしてのプレゼンテーション能力という観点からアドバイスできるとよい。

各グループの代表となった生徒には、端末を電子黒板やプロジェクターにつないでもらい、前に出て step3 で作成したデジタルノートを投影しながら発表してもらおう。

step6

○まとめ 発表のポイント

- シンボルでわかりやすいメッセージ
直感で「ここにきたい」と思わせるようにしよう！
- 見やすいスライドを作成しよう
スライドは「わかりやすく見やすい」構成にしよう！
- 現地でのイメージを想像できるようにしよう
「こんな食べ物が食べられる」
「あの絶景を見ることが出来る」
など観ている人たちに具体的な体験を想像させよう！

まとめ・宿題

授業内容を振り返り、発表を行った生徒を改めて称えるとともに、本日のフィードバック内容を踏まえてスライドをブラッシュアップするという宿題を提示する。

宿題は、step3 で作成したデジタルノートを直接修正させるのではなく、コピーしたものを修正するように指示する。その上で、修正前と修正後の両方をPDFにして提出させ、どこをどのように改善したのかわかるようにする。

step7

<参考>

プレゼンテーションの参考にこれらの動画を視聴することをおすすめします！

それぞれの動画を視聴しながら、「どのような点を伝えようとしているのか」「どうすればわかりやすい話をする事ができるのか」と考えてみましょう。

参考・補足

TED Talk や各国の観光局による紹介動画などの「お手本」から学び、次回以降の活動に生かしてもらおう。

リンクふせんの案内をする。紹介するリンクの例は以下。

【YouTube チャンネル：TED】
<https://www.youtube.com/@TED>

【YouTube 動画：Welcome to The Hawaiian Island～癒しの世界へ～】
<https://www.youtube.com/watch?v=1xZM9YvtAUo>

【YouTube 動画：8D エスケープ | 紹介編 | オーストラリア政府観光局】
<https://www.youtube.com/watch?v=9lAvjpyoicQ>